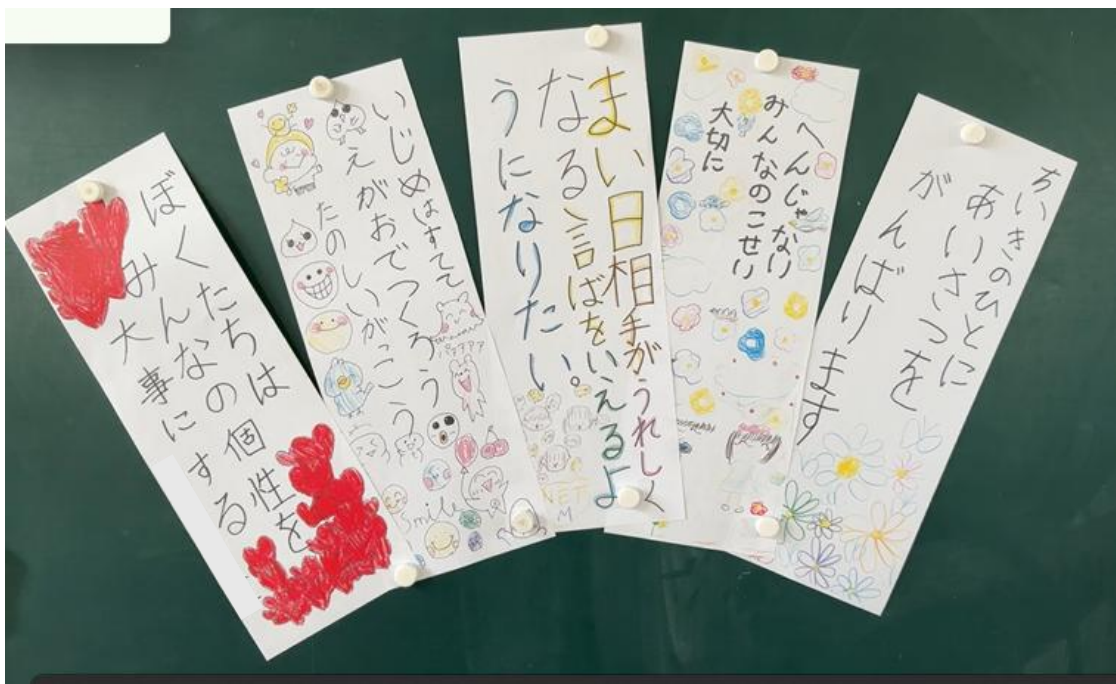


スマイルプロジェクト・スマイル月間の取り組み

鳥取市立大正小学校

①あったか標語づくり



友だち同士でつながり、あたたかい教室を作っていくために大切にしたいことを標語にし、日めくりカレンダーを作成した。教室に掲示して紹介したり、学級のみinnで声に出して読んだり、全校放送で紹介したりして、あたたかい雰囲気づくりを行った。

②児童集会「大正フェスタ」



異学年の友だちと交流する「大正フェスタ」を開催した。児童が主体となって企画や運営を行い、ルールを守って決まりよく活動に参加する姿が見られた。自分たちで活動を作り上げる自治力を高め、あたたかい学校づくりにつながる集会になった。

令和8年度「鳥取市 Smile 月間」取組について

鳥取市立東郷小学校

(1) 委員会の取り組み

①スマイル集会（計画・放送委員会）

みんなで協力し、友達のよいところを認め合うことが、いじめのない笑顔あふれる学校づくりや仲間づくりにつながると考え、計画・放送委員会の児童が企画・運営しました。スマイル集会では、「全校Ｔタイム」「絵合わせありがとうゲーム」「ボール運びリレー」「フラフープリレー」を行いました。

まず、「全校Ｔタイム」では、好きなものや得意なことについて異学年同士で伝え合い、交流しました。互いの考えをしっかりと聞き合い、受け止めながら話す姿が見られ、今まで知らなかった友達の一面を知ることができました。こうした対話を通して、相互理解が深まりました。

「絵合わせありがとうゲーム」では、同じ絵を持つ友達とペアになり、互いのよいところやがんばっているところ、互いにしてもらって嬉しかったことを伝え合いました。活動中は、「いつも〇〇してくれて嬉しいです。ありがとう。」「〇〇さんの～なところがすてきです。私も真似をしたいです。」などの温かい言葉が行き交い、会場全体がやさしい雰囲気に包まれました。

最後に「ボール運びリレー」と「フラフープリレー」を行いました。どのチームも声をかけ合いながら協力し、楽しみながら競技に取り組む姿が見られました。

全校で交流を深め、仲を深める充実した時間となりました。



「全校Ｔタイム」の様子



「絵合わせありがとうゲーム」の様子



「ボール運びリレー」と「フラフープリレー」の様子



②読み聞かせ（図書委員会）・「あいさつプロジェクト」（健康・福祉委員会）

図書委員会が、スマイル月間に合わせて、「友達」をテーマにした本を中心に読み聞かせを行いました。改めて「友達」について考えることができました。

また、相手のことを大切にできる学校づくりを目指し、健康・福祉委員会は、あいさつの質の向上を図って、「あいさつプロジェクト週間」を行いました。期間中は、お互いにあいさつをしたらシールを貼り合う「あいさつカード」の取り組みを行ったり、朝、あいさつソングを流したりするなど、学校全体でよいあいさつを意識できる取り組みを行いました。その結果、明るく元気なあいさつを交わす姿が多く見られました。



図書委員会の読み聞かせ



「あいさつプロジェクトの様子



(2) 「ふれあいタイム」を活用した仲間づくり

毎週木曜日の「ふれあいタイム」では、異学年同士の仲を深めることはもちろん、上学年が下学年を思いやって行動する力を育てることをねらいとして、児童が縦割り班での活動や委員会主催の活動を計画し、取り組んでいます。

縦割り班活動では、おにごっこやドッジボールなど体を動かす遊びや「ナンジャモンジャ」やトランプなどのカードゲームなどをして、異学年同士での交流を行っています。

委員会が企画する遊びでは、縦割り班ごとに協力して楽しめる内容を、児童が創意工夫しながら計画しています。活動中は、いつもたくさんの笑顔が見られ、上学年が下学年に声をかけたり、やさしくサポートしたりする姿が多く見られます。

こうした取り組みを通して、異学年同士のつながりが深まり、温かい雰囲気の中で学校全体の仲間意識が高まっています。



縦割り班での遊びの様子



委員会主催の縦割り班対抗リレー



(3) 親子でニュースポーツ体験

7月に「いのちの教育参観日」を行い、その後の「学校保健安全委員会」では、児童と保護者が一緒にニュースポーツの体験を行いました。

体験で使用した器具は「鳥取 ユニバーサルスポーツセンター ノバリア」から借用し、本校の5・6年生が会場の参加者に向けて遊び方を説明しました。ニュースポーツ体験を通して、ニュースポーツが障がいの有無や運動能力関係なく、誰もが楽しめるものであることを理解するとともに、児童、保護者同士、親子での親睦を深めることができました。



ニュースポーツ体験の様子

1. 保護者・地域を対象とした取り組み

・7月1日（水） こころの教育参観日にて教育講演会の実施

演題「私の歩いた世界と難民キャンプ～Think Globally-Act Locally（世界に目を向け、足元から始めよう）～」

講師 難民支援団体ピースバード代表 河上 友香 氏

難民支援の自身の経験をもとに、クイズを交えながら世界の人権問題についてお話をしていただいた。同じ地球に住む仲間として、人種や民族が異なる相手を理解することの大切さについて考える機会となった。



2. 児童を対象とした取り組み

（1）自治力育成を図り、人権を大切にする子どもの育成【全校話合いの会の実施】

全校児童17人を3グループに分け、うち1グループが司会団となり、東郷小学校との交流に向けた話合いを行った。この「全校話合いの会」は、合意形成能力と社会参画の基盤となる力を育成することを目的に年間を通して実施する。



（2）東郷小学校との交流での道徳科合同授業

東郷小学校との交流では、合同で道徳の授業を実施した。普段の学習より多い人数で一緒に考えることで、より多角的な視点から人権について考えることができた。他校の友達との仲間づくり活動を通して、相手を大切にし、相互理解を深めようとする姿が見られた。



（3）いじめ実態把握アンケートの実施（月例）

いじめの早期発見や、児童の悩みに早期に対処するために毎月実施している。アンケート後には各担任が必要に応じて聞き取りを行った後、生徒指導主事へ提出した。生徒指導主事は内容を確認し、管理職への報告の後、ファイルに保存した。

3. その他

（1）特別活動を研究領域とした自治力向上に向けた取り組み

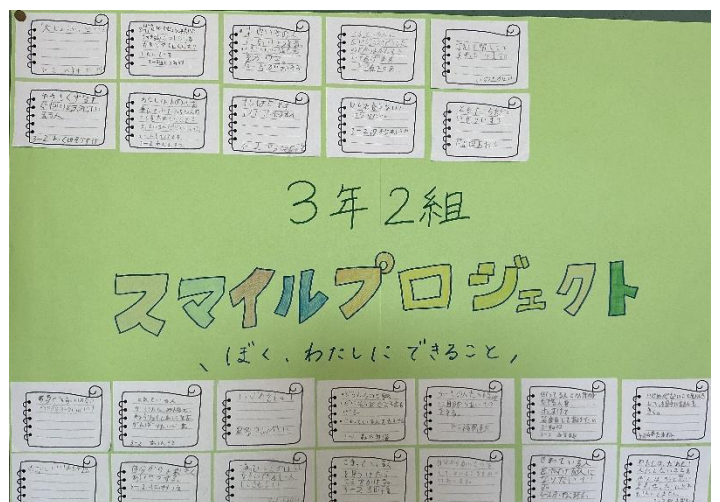
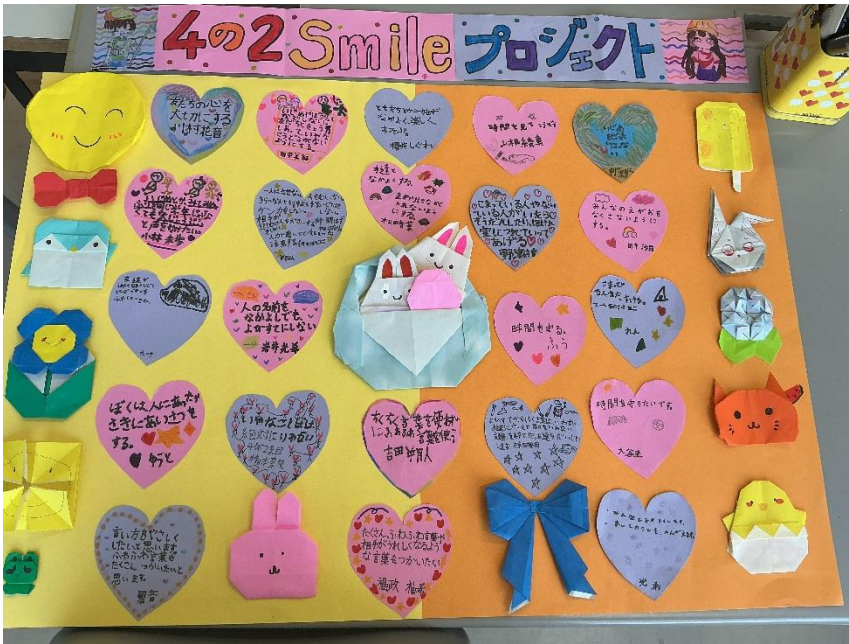
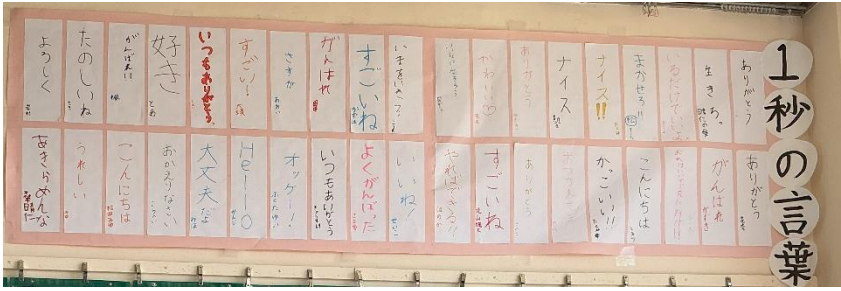
本校児童はコミュニケーション能力の育成や、他者とのかかわりの中で自分のよさに気づく機会が不足している。また、自分の思いを言語化し、表現することに苦手意識をもつ児童が多い。そのような課題に向き合い、児童が「明治小学校を17人で創る」という当事者意識のもと、主体的に話し合い、決めたことを自分たちの力で実行する力を育成することを目指して取り組んでいる。

（2）教職員対象の「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針」についての研修

いじめは子どもたちにとって身近で重大な人権侵害であるという考えに基づき、いじめ問題への取組を確認、強化するために研修を実施した。未然防止に向けた取り組みの強化を特に重視し、いじめのない明治小をめざしていくことを共通理解した。

令和8年度「鳥取市 smile 月間」における取組

鳥取市立世紀小学校



世紀小学校 Smile プロジェクト

- ・各学級で笑顔あふれるハピスマな学校を目指して自分に何ができるか考えたことを掲示した。
- ・ハピスマ集会を開き、委員会から学校の課題をもとに、よりよい学校にするための提案、呼びかけをした。全校が笑顔になる遊びを企画、運営した。



令和8年度鳥取市 Smile 月間の取組

高草中学校 Smile プロジェクト

「高誇プロジェクト」

〈ねらい〉 誰もが安心・安全な学校にするために、互いの存在を認め合い、いじめの無い、笑顔があふれる学校をめざす。

生徒目標「高草を誇る」を達成するために、学年・学級で誇りを持てるところをつくり、学校・学級への所属感や自己肯定感の向上をめざす。

- 〈内 容〉 ・「誇る」について、全校道徳を行う。
・各学級で「我がクラスの誇り」をつくり、今年度末まで継続していく。



←クラスでの話し合いの様子

各学級の誇りー

